

生産環境情報・計画学特論演習 (2単位)

担当者氏名 豊田裕道・渡邊文雄・島田沢彦・鈴木伸治

◆学習・教育目標

生産環境・自然環境を含めた地域環境の情報を、広域のおよび局地的アプローチで的確に処理・把握する手法と、計画に反映させるために必要な知識を習得する。また、テーマに即した英文文献を漏れなく収集し、的確なレビューワークを行えるようになることを目指す。この科目は、必要に応じてバイリンガル（日本語と英語）で実施している。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

環境情報

地水工学

農業気象

生産環境計画

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	ガイダンス	講義の進め方	
2	環境情報学関係ゼミ (1)	環境情報学関係文献講読とプレゼンテーション	指定英文文献の熟読
3	〃 (2)	GISを用いた集水域解析に関する研究論文講読	
4	〃 (3)	地表面反射スペクトル特性に関する研究論文講読	
5	〃 (4)	リモートセンシングによる地表評価研究論文講読	
6	地水工学関係 (1)	地水工学関係文献講読とプレゼンテーション	
7	〃 (2)	我が国の水資源と農業用水に関する研究論文講読	
8	〃 (3)	乾燥地の特色ある水利用に関する研究論文講読	
9	〃 (4)	寒冷地の特色ある水利用に関する研究論文講読	
10	農業気象関係ゼミ (1)	農業気象関係文献講読とプレゼンテーション	指定英文文献の熟読
11	〃 (2)	気象災害とその対策に関する研究論文講読	
12	〃 (3)	気候変動に関する研究論文講読	
13	総合演習 (1)	各自のテーマに関係する文献のプレゼンテーション	英文文献の検索・熟読・発表準備
14	〃 (2)	〃	
15	総括	総括	

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

必要に応じて適宜、資料を配布する。

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

ゼミ形式で行う課題プレゼンテーション（70点）と課題レポート（30点）で評価する。60点以上で合格とする。

◆その他受講上の注意事項

文献検索には、検索サーチャー「J-Dream」、ISI Web of Knowledgeなどを活用すること。